



益富地学賞 決定

地学の研究や啓発活動に取り
 組む公益財団法人・益富地学会
 館（京都市、山岡景一郎理事
 長）が優れた研究や標本を表彰
 する「第23回益富地学賞」（産
 経新聞社後援）の受賞者が決定
 し、表彰式が行われた。

平成5年にスタート。これま
 では主に小中高校生を対象に研
 究成果を公募していたが、今回
 から研究、標本、写真の3部門
 に分けて一般公募に切り替える
 などリニューアル。岩石や化石
 の研究や鉱物標本、火山研究な
 ど数十点の応募があった。

審査の結果、研究部門の優秀
 賞と産経新聞特別賞には、ニュ
 ースでシェールオイル・ガスに
 ついて知ったのを機に岩石を調
 べたという京都市上京区の小学

研究部門優秀賞 小4松村さん



表彰される松村正太郎さん＝京都市左京区

4年、松村正太郎さん(10)の
 「頁岩の研究〜ホルンフェルス
 ってどんな石?〜」**写真**が
 選ばれた。松村さんは「1年生
 のときから石の勉強をしていま
 す。来年もテーマを見つけて応
 募したい」と話していた。

同館の藤原卓主任研究員は
 「地球に関心を持つことで、身
 近な環境から災害の問題などへ
 の意識を高めてもらえればうれ
 しい」と話している。

他の主な受賞者は次の通り
 (敬称略)。

【研究部門科学奨励賞】「石
 集め3―山口県の花こう岩を調
 べる―」(黒田健仁朗、小3)
 ▽「うく軽石 しずむ軽石」
 (針貝美羽、小2) 【同特別
 賞】「ワクワクひすいさがし」
 阪下輝来(小5) ▽「いしがい
 っぱい」都築響(小1) 【標本
 部門特別賞】「緑泥片岩の断面
 観察」(山崎伊津子、一般) ▽
 「イチヨウの祖先の植物化石」
 (遠藤瑠惟、小4) 【写真部
 門】該当なし